HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	彙報
Citation	北方言語研究, 11
Issue Date	2021-03-20
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/80933
Type	other
File Information	NoLS11_05_Information.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

ꕥ 彙　報 ꕥ

日本北方言語学会　第 3 回大会

日　時：2020 年 11 月 7 日（土）
会　場：オンライン開催

【池上二良先生ご生誕 100 年記念講演の部】
金　　周源（韓国・ソウル大学）
「韓国の北方言語研究の現状と展望」

【研究発表】
菱山　湧人（東京外国語大学大学院）
「チュヴァシ語の所有文について」
植田　尚樹（京都大学）
「モンゴル語ハルハ方言の/ʊ/と/o/の合流 ―知覚実験に基づく検討―」
山越　康裕（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
「ツングース諸語の 4 分類はいつから構想されていたのか
―AA 研所蔵田村資料から見える池上二良先生の分析の記録」
風間伸次郎（東京外国語大学）
「アルタイ型言語における補助動詞の分布について」
小野　洋平（放送大学大学院）
「言語学における「数量化」を再考する
―北方諸言語の言語地理学と言語類型論の対比を通じて―」
落合いずみ（北海道大学）
「アイヌ語の 20 進法再考 ―下方算法から上方算法への切り替え」
児倉　徳和（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
「シベ語における情報構造再考 ―「焦点」を中心に」
山﨑　雅人（大阪市立大学）
「満洲語文語におけるモダリティ表現としての -ra/re/ro + bihe について」

【総　　会】
・役員（2020～2021 年度）　会長：呉人 惠、事務局長：江畑冬生、幹事：児倉徳和、堀 博文、顧問：津曲敏郎
・第 4 回大会 ＆ 国際シンポジウム
2021 年 11 月に北海道立北方民族博物館（網走市）での開催を検討中
［報告］会員数 53 名（2020 年 11 月 7 日現在）

日本北方言語学会 入 会 案 内

①年会費　：当面徴収しない
②入会資格：北方言語研究に関心を持ち、本会の趣旨に賛同される方。ただし、北方言語に関する研究業績を 2 本以上公刊していること、あるいは、会員または指導教員等の推薦があること。
③活動内容　・研究会および国際シンポジウム等の開催
・学会誌『北方言語研究』の刊行（投稿は会員に限る）と会員への無償配布
・学会 HP および会員 ML による情報交換
④入会申込：以下について下記事務局あてにメールで通知（随時受付）
・氏名
・所属
・送付物受領用住所
・e メールアドレス
・研究業績（2 点）または推薦者（氏名／e メールアドレス）
⑤事務局　：江畑冬生（新潟大学人文学部）　hoppougengo-owner@googlegroups.com